



日刊 動力労働千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.1.16 No. 3333

下

空港特急は百害も一利なし!

(第三三三二号 からつづく)

(第三の問題点は、) 在来線最高の一三〇キロ運転に伴う安全の危機、線路等に与える影響、沿線への騒音のまき散らし等、極めて深刻化するであろう運転保安上の問題点である。成田エクスプレスは、別表のとおり、錦糸町～千葉間一三〇キロ運転、千葉～成田間一三〇キロ運転を行い、カーブやポイントについても現在運転取扱い心得や列車運転速度表で定められている制限速度のプラス一五キロ～二五キロで運転するというのである。カントをあげたり、PC枕木にしたり等々若干の

手直しをもって、「絶対に安全」などどうして言いけることができるのか。しかも、団交の席では、三月一九日からの「本番」に向けて、実際に五十三分での運転が可能なのか、どのような影響がでるか等の試運転すら、やるかどうかまだ判断していないと回答するありさまである。まさにズサンとしか言いようがない。成田エクスプレスは沿線に騒音と危険だけをまき散らすだけの存在でしかないのだ。さらに、東京～空港間で、運転方式がATC-ATS・S型-ATS・P型と三回もめまぐるしく変化することが、運転に与える影響も、運転保

安上極めて重大な問題を残すことになる。われわれは、成田エクスプレスの設定に伴う県内交通体系の抜本的な改編について、今後の県内交通にとつて極めて大きな禍根を残すことになる空港アクセスのために、地域住民を犠牲にする列車設定に反対するという立場から、次の三点を要求している。

(一) 千葉駅乗降客の利便を図るために、自由席車両を増結し、成田エクスプレスを千葉駅停車とすること。
(二) 成田エクスプレスの設定本数を半減、もしくは通勤時間帯を外し、通勤・通学輸送対策を講ずること。
(三) 沿線に騒音と危険をまき散らす、成田エクスプレスのスピードアップを中止し、制限速度は現在どおりとすること。しかし、当局は、「地域住民、利用者にとつて百害あって一利なし」とのわれわれの主張に対して、「そんなことはない、成田にはカネがおちる」と「そんなに迷惑はかけない」と公言して恥ないものである。

【別表】

	東京	錦糸町	千葉	成田	成田空港
現行	90k/h	120k/h 曲、本則 +5	95k/h 曲、本則 -5	(佐倉～成田)	
改正	90k/h	130k/h 曲、本則 +25	120k/h 曲、本則 +15	130k/h 曲、本則 +25	

追悼、大須賀昭男氏

労働合理化阻止、運転係安堵、
労を許す、労働条件の抜本的改善

八公
労働組合

千葉
の



前成田支部書記長である大須賀昭男氏が、一月十四日午後一時四十分急逝された。十二月三十一日クモ膜下出血で倒れ、療養中のごとくで、その突然の逝去に驚きを禁じえませんでした。争議団の最先頭で闘いぬいてきた大須賀さんの遺志をひきつぎ、解雇撤回、原職奪還の日まで闘いぬこう。享年四十七才。
告別式・十六日十二時
場所は自宅

青年部旗開き開催

一月九日、本部青年部は、動力車会館で各支部から四十名の結集をもつて、旗開きを開催した。九一年の闘い始めとして、われわれは、①動力千葉根絶のみを意図する業務移管を始めとする三月ダイ改を怒りのストライキで粉砕する。②清算事業団闘争への総決起。③中江選挙闘争の必勝へ闘い抜くことをガッチリと確認しました。当日結集した青年部員は、組織の最先頭で闘うことを決意して、元氣よく散会しました。

